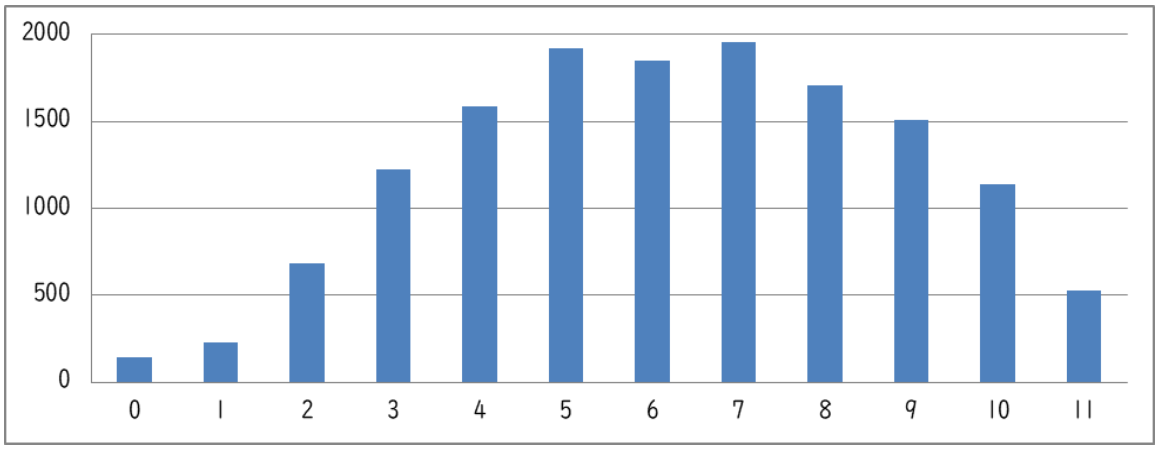
令和３年度第１回みえスタディ・チェックの結果（小学校国語）

１　第４学年

（１）平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 （平均正答数）	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		話す・聞く	書く	読む	知識及び技能
56.8% （6.2 問/11 問）	12.08%	48.6%	27.3%	52.4%	59.6%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童数）



（３）各問題の正答率

※網掛けは，正答率が過去より５ポイント以上低い問題です。

問題番号		問題概要	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況
1	一（1）①	「（まどを）あけて」の漢字として正しいものを選択する	選択	90.4%	－	－
	一（1）③	「かさなって」を漢字で書いたときの送り仮名が正しいものを選択する	選択	80.0%	－	－
	一（2）②	「長い」の被修飾語を選択する	選択	53.6%	－	－
	二	文の主語を選択する	選択	54.5%	55.4%	-0.9
	三	「切手」をローマ字で書く	短答	43.0%	33.0%	+10.0
2	一	調べた内容に対応している「発表メモ」の項目を選択する	選択	66.3%	63.8%	+2.5
	二（1）	「発表原稿」の中で，「こちらの【し料】を見てください。」という一文を加える場所を選択する	選択	52.2%	48.7%	+3.5
	二（2）	「三重県でお茶作りがよく行われている理由」となる内容を資料から全て取り上げて書く（50 字～70 字）	記述	27.3%	28.0%	-0.7
3	一	カエルのくらしにあった目のつくりの説明として適切なものを選択する	選択	61.4%	76.4%	-15.0
	二	カエルの耳はどこにあるか，空欄に当てはまる言葉を文章から抜き出す	短答	61.7%	74.9%	-13.2
	三	古田さんが知りたいことを目次を利用して調べるときに，どのページから読み進めたらよいかを選択する	選択	34.0%	49.9%	-15.9

【成果】

・促音を含む言葉をローマ字で書く問題で改善が図られていますが，依然として課題です。

・発表の中で効果的に資料を提示するタイミングを選択する（話の構成を考える）問題で改善が図られています。

【課題】

・文の主語を選択する問題で引き続き課題が見られます。

・科学に関する文章を読み，目的に応じて必要な情報を捉える問題で課題が見られます。

（４）課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

①　課題が見られる問題

３三の設問　（正答率：34.0%）

三　次に、古田さんは、カエルのからだのしくみについて、次のことを知りたいと思いました。そこで、『カエル』という本を読んで調べることにしました。この本のどのページから読み進めたらよいですか。下の、**【『カエル』の目次】**に書かれているページの番号を一つ選んで、その番号を書きましょう。

【古田さんの知りたいこと】

カエルのからだについて、目と耳のしくみは分かったけれど、ほかの部分はどうなっているのだろう。

カエルはよく池でとんだりはねたりしていた。足はどのようなしくみになっているのか、調べてみよう。

【『カエル』の目次】

目次

第一章　カエルのからだ

・カエルの頭（目・耳・鼻・口）……6

・カエルの体（おなか・せなか）……8

・カエルの手……10

・カエルの足……12

第二章　カエルのせいちょう

・カエルのたまご……14

・カエルの子ども（オタマジャクシ）……16

・カエルのオスとメス……18

第三章　日本のカエル

～（内ようが続（つづ）く）～

② 課題の改善に向けた指導のポイント

辞書や辞典の使い方を理解し，必要な情報を見付けて読むことができるように指導する

> ■学習指導要領における領域・内容
> ３・４年生　〔知識及び技能〕（２）情報の扱い方に関する事項
> イ　比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や辞典の使い方を理解し使うこと。

調べる学習などを行う際，児童の状況は様々です。目次や索引の特徴を知り，自分の目的や状況に応じて使い分けるなど，本や文章全体から必要な情報を得るための効果的な読み方を身に付け，活用できるようにすることが大切です。

調べたい内容が大まかに決まっている場合は，目次を活用して書かれていそうなページを見付けてから読むよう指導します。また，調べたい事柄がはっきりしている場合は，索引を活用するとよいことを指導します。

なお，辞書や辞典については，調べる学習などにおいて活用できるようにすることが求められ，国語科に限らず，他の教科等の調べる学習や日常生活の中でも積極的に利用できるようにすることも大切です。

③ 課題に対応したワークシート

〈小学校五年生・六年生〉

2　食べ物の保存について疑問に思ったことを調べ、紹介し合おう

年　組　番　名前

2　宮原さんの学級では、身近な食べ物について疑問に思ったことを調べ、友達と紹介し合うことにしました。次は、宮原さんの【ノートの一部】と宮原さんが選んだ【資料】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【ノートの一部】

食べ物の保存について

調べようと思ったきっかけ
春休みに、祖母から梅干しをもらったが、それが十年前に作られたものだと知りおどろいた。十年もたつのになぜ食べられるのかと聞くと、塩づけにしたり干したりしているからだということだった。昔の人はくふうして食べ物を保存してきたのだと、祖母は教えてくれた。

疑問に思ったこと
① なぜ食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できるのか。
② なぜ昔の人は、食べ物を保存する方法を考えなければならなかったのか。

調べて分かったこと
① 食べ物を塩づけにしたり干したりすると保存できる理由は、［　ア　］
② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、［　イ　］

宮原さん

【資料】食べ物の保存について書かれた本のページ

食べ物を保存する

◆　**食べ物は生命の源**

生き物は、食べ物がなければ生きていくことができません。食べ物を安定して確保することは、生きる上で欠かせないことです。

例えば、リスは秋になるとドングリを土にうめ、食料をたくわえます。クマはたくさんの食べ物を食べ、体に栄養をたくわえて冬眠に入ります。動物たちは、このようにして生きぬいているのです。

わたしたち人間は、食べ物を保存する技術がなかったころは、いつでもおなかを満たすことができるというわけではありませんでした。季節や天候などにより、農作物や肉、魚などが手に入らないことがあったからです。また、運よく大量の食べ物が手に入ったとしても、そのままにしておくと、くさって食べられなくなってしまうこともありました。そのため、人々は昔から様々な方法で食べ物の保存を試みてきました。失敗をくり返しながらよりよい保存方法を獲得し、次の世代へつないできたのです。

◆　**保存のふしぎ**

食べ物がくさる主な原因は、食べ物をくさらせる細菌が増えることです。その細菌は食べ物の水分を利用して増えます。そのため、水分が少なくなれば細菌は増えにくくなり、食べ物はくさりにくくなります。

では、水分を少なくするにはどのようにしたらよいのでしょうか。例えば、塩や砂糖を使うという方法があります。塩や砂糖には水分を吸い出すはたらきがあるので、塩や砂糖を使ってつけることで水分を少なくすることができるのです。また、かんそうさせるという方法もあります。日光や風に当てて干すことで、水分を蒸発させることができます。

これらの方法を使った保存食には次のようなものがあります。

塩を使う	砂糖を使う	かんそうさせる
・山菜の塩づけ ・豚肉の塩づけ ・魚の塩づけ	・果物の砂糖づけ ・ジャム	・切り干し大根 ・かんぴょう ・こんぶ

（出典：平成31年度全国学力・学習状況調査 小学校国語2）　（三重県改編：解答欄挿入等）

一　宮原さんは、【資料】を読み、ノートにまとめています。次の(1)と(2)の問いに答えましょう。

(1)　【ノートの一部】の［ア］には、［疑問に思ったこと］の①の答えになる内容が入ります。その内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　水分が多くなり、食べ物がくさりやすくなるから。
2　細菌が増え、水分を蒸発させることができるから。
3　水分が少なくなり、細菌が増えにくくなるから。
4　細菌が減り、水分を増やすことができるから。

(2)　【ノートの一部】の［イ］に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

【ノートの一部】

② 昔の人が食べ物を保存する方法を考えなければならなかった理由は、［　イ　］

〈条件〉
○［疑問に思ったこと］の②の答えになるように考えて書くこと。
○【資料】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○四十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。

◆

70字

40字

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

（出典：平成31年度全国学力・学習状況調査 小学校国語2）　（三重県改編：解答欄挿入等）

二　宮原さんは、食べ物の保存について調べたあと、自分でも梅干しを作ろうと思い、必要な情報が書かれていそうな本を選びました。次は、【知りたいこと】と本の【目次の一部】です。宮原さんが読むページとして最も適切なものを、あとの［1］から［4］までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【知りたいこと】

梅干しを作るには、塩はどのくらい必要で、いつ入れたらいいのかな。

【目次の一部】

第２章　梅干し

○　**梅干しはどこからきたのか**　…　40ページ　［1］
・梅干しの起源（きげん）

○　**はじめてでも簡単（かんたん）！おうちで梅干し**　…　55ページ　［2］
・梅と塩、道具の選び方
・作り方の手順とポイント

○　**梅干しの活用術**　…　67ページ　［3］
・いわしの梅煮（うめに）
・わかめと梅干しのスープ

○　**梅干しの豆知識**　…　77ページ　［4］
・故事とことわざ

（出典：平成31年度全国学力・学習状況調査 小学校国語2）　（三重県改編：解答欄挿入等）

（平成31年度全国学力・学習状況　小学校国語2から作成）

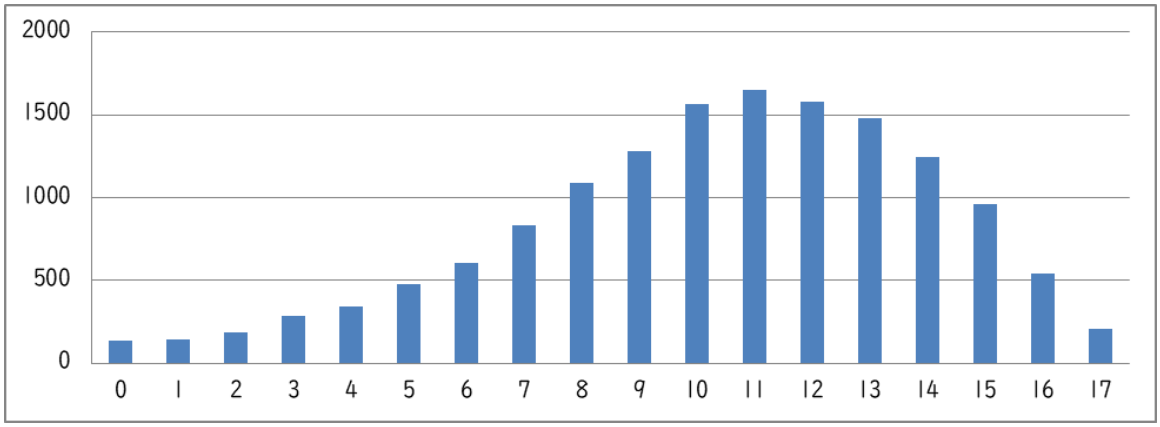
＊学校の先生は，上記のワークシートを「授業改善サイクル支援ネット」の「ワークシート・問題ダウンロード」から，ダウンロードできます。

2　第５学年

（１）平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 （平均正答数）	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		話す・聞く	書く	読む	知識及び技能
60.8% （10.3 問/17 問）	8.26%	48.1%	36.8%	74.3%	59.4%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童数）



（３）各問題の正答率

※網掛けは，正答率が過去より５ポイント以上低い問題です。

問題番号		問題概要	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況
1	一（1）	「まったく」を漢字で書いたときの送り仮名が正しいものを選択する	選択	72.4%	－	－
	一（2）	「さむ（い）」を漢字で書く	短答	63.1%	52.0%	+11.1
	一（3）	「かんしん」を漢字で書く（関心）	短答	34.5%	30.9%	+3.6
	一（4）	「ねが（い）」を漢字で書く	短答	77.9%	－	－
	一（5）	「しず（か）」を漢字で書く	短答	83.0%	80.0%	+3.0
	二	文の主語を選択する	選択	53.6%	36.0%	+17.6
	三	接続語を使って一文を二文に分けて書く	短答	36.5%	27.8%	+8.7
	四	主語と述語のつながりが合うように文を直す	短答	54.1%	38.1%	+16.0
2	一ア	感想アが，①と②のどちらの詩について書かれた感想かを選択する	選択	91.0%	85.7%	+5.3
	一イ	感想イが，①と②のどちらの詩について書かれた感想かを選択する	選択	87.2%	83.9%	+3.3
	一ウ	感想ウが，①と②のどちらの詩について書かれた感想かを選択する	選択	79.5%	78.7%	+0.8
	一エ	感想エが，①と②のどちらの詩について書かれた感想かを選択する	選択	78.5%	76.5%	+2.0
	二	二つの詩のどちらを紹介するかを選び，詩の良さやその理由を記述する（60 字～80 字）	記述	35.3%	37.8%	-2.5
3	一	話し合いを基に作成した報告で示す資料として，適切なものを選択する	選択	74.2%	54.1%	+20.1
	二	【報告内容】の空欄に当てはまるよう【アンケート結果】の質問２から分かることを数字を入れて記述する（50 字～60 字）	記述	22.0%	9.2%	+12.8
4	一	調べたことを報告する文章にまとめるときの工夫として適切なものを選ぶ	選択	69.3%	75.6%	-6.3
	二	地域の人たちと交流会でしたい昔の遊びを一つ選び，その理由を複数の資料の内容から取り上げて記述する（60 字～100 字）	記述	20.7%	31.3%	-10.6

【成果】

・話し合いを基に，目的に応じた資料を選択する問題で改善が図られています。

・文の主語を選択したり，主語と述語とのつながりが合うように文を直したりする問題で改善が図られています。

【課題】

・目的に応じて，複数の資料を関連付けながら自分の考えをまとめることに課題が見られます。

・調べたことを報告する文章を読み手に分かりやすくするための工夫を捉えることに課題が見られます。

（４）課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

①　課題が見られる問題

４二の設問　（正答率：20.7%）

【昔の遊びについて調べたこと】

「めんこ」（どんなもの）厚紙でできていて、長方形や円形のものなどがある。

（遊び方）① 遊ぶ人は、それぞれ何まいかずつめんこを出し合い、それを重ねておく。

② 積み重ねためんこのそばに自分のめんこをたたきつけて、風の勢いでとばす。

③ とんだめんこがうら返しになると自分のものとなり、その数で勝ち負けを決める。

「あやとり」（どんなもの）一本のひもの両はしをむすんで、輪にしたもの。

（遊び方）① 両手の指にひもをかけたり、はずしたりしながら、形のあるものを作っていく。

② 練習するとさまざまな形を作れるようになるところに楽しさがある。

「お手玉」（どんなもの）小さなぬのでできたふくろに、米やあずきなどを入れてぬい合わせたもの。

（遊び方）① かた手、あるいは両手で投げ上げては取ることをリズムよくくり返す。

② 二個、三個とふやしていくとむずかしくなる。

「ゴムとび」（どんなもの）ゴムひもを2、3メートルの長さに切ったもの。また、両はしをむすんで輪にしたもの。

（遊び方）① 二人でゴムひもの両はしを持って立つ。ひざ、こし、むねなどの高さでゴムひもを持ち、それをとびこえる。

「おはじき」（どんなもの）1センチほどのまるく平らな形をしたガラス。昔は小さな石を用いた。

（遊び方）① 二、三人で、おはじきを持ちより、テーブルの上に散らばらせる。順番を決めて、自分のおはじきを指先ではじいて散らばったおはじきに当てる。

② ほかのおはじきにふれずにねらったおはじきに当たれば、自分のものとなる。失敗すれば交代し、テーブルの上のおはじきがなくなるまでくり返す。

【報告する文章の下書き】

わたしたちは、昔の遊びについて調べたことを、次のようにまとめました。

○ 調べた昔の遊びの特ちょう

昔の遊び	身近なものでつくることができる	多くの人で遊ぶことができる	すわったままで遊ぶことができる
めんこ	○	○	
あやとり	○		○
お手玉	○		○
ゴムとび	○	○	
おはじき		○	○

○ 調べた結果から、わたしたちのグループが地いきの人たちとの交流会でしたいと考えた昔の遊びは、

あ

二　村井さんは、【報告する文章の下書き】の［あ］の部分を書いています。あなたが村井さんなら、どのように書きますか。その内容を、次の〈条件〉に合わせて書きましょう。

〈条件〉

○ 村井さんのグループが調べた【昔の遊びについて調べたこと】から地いきの人たちと交流会でしたい昔の遊びを一つ取り上げて書くこと。

○ なぜその遊びを取り上げたのか、理由を書くこと。

○ 【昔の遊びについて調べたこと】と【報告する文章の下書き】の「調べた昔の遊びの特ちょう」の両方の内容から取り上げて書くこと。

○ ［あ］にあてはまるように、六十字以上、百字以内で書くこと。

②　課題の改善に向けた指導のポイント

調べて分かった事実の中から，自分の考えを支える理由となる内容を取り上げてまとめることができるように指導する

■学習指導要領における領域・内容
３・４年生　〔思考力，判断力，表現力等〕Ｂ　書くこと
ウ　自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫すること。

調べたことを報告する文章では，調べた結果から自分がどのような考えをもったかを述べることになります。その際，調べて分かった事実が自分の考えを支える理由や事例となります。これを踏まえ，より説得力をもって自分の考えを伝えるためには，調べて分かった事実の中からふさわしいものを取り上げ，自分の考えとの関係を十分に捉えて書くことが重要です。そのためには，まず，調べて分かった一つ一つの事実に対する自分の考えをもち，目的や意図に応じた自分の考えの中心を明確にしながら書くことが大切です。

また，「なぜなら～」，「その理由は～」，「～ためである」など，理由を示すことを明確にする表現や，「例えば～」，「～などがそれに当たる」など事例を示す表現を用いることができるようにすることも大切です。

③　課題に対応したワークシート

〈小学校四年生から活用できます〉
書くこと

調べたことを報告する文章を書こう

年　組　番　名前

山野さんの学級では、身近なものについて調べたことを、友だちと報告し合うことにしました。山野さんは、緑茶について調べています。次は、山野さんが書いている【報告する文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

1　緑茶について

はじめに

最近、スーパーマーケットなどで緑茶のペットボトルがたくさん売られているのを目にします。また、お菓子など、緑茶が使われた商品の種類は年々増えてきています。先日、十年前と比べて、緑茶が海外で飲まれる量が増えていることをニュースで知りました。そこで、なぜ緑茶の人気が高まっているのかについて調べてみることにしました。

2　調査の内容と結果

（1）　緑茶の人気が高まる理由①

スーパーマーケットで売られている緑茶のペットボトルのラベルにどのようなことが書かれているのかを調べてみることにしました。緑茶が体によいという内容が書かれているペットボトルがいくつかありました。栄養士の先生からいただいた資料を読むと、緑茶には体によいビタミン※などがふくまれていました。

このことから、緑茶は、体の健康をたもつ効果があるため、人気が高まっていると考えられます。

（2）　緑茶の人気が高まる理由②

地いきの和菓子屋さんや洋菓子屋さんを［ア　たいしょう］として、緑茶を使った商品が増えている理由について聞いてみました。「緑茶のにがみがお菓子のあまさと合う」「緑茶のにがみでおいしさが増す」という回答が多くありました。

このことから、緑茶のにがみが、食べもののおいしさを引き立てていることも人気の理由であると考えられます。

3　おわりに

最近、昔から［イ　したしまれてきた］緑茶が国内外で注目されています。なぜなら、［　　］

緑茶のみりょくはまだまだあるはずなので、もっと調べて緑茶について理解を深めたいと思います。また、これからも身近なものに［ウ　かんしん］をもって、生活を見つめ直していきたいと思います。

※ビタミン…　食べ物にふくまれる成分のひとつ。ほかの成分のはたらきをたすけたり、からだの機能を調整したりする。

一　山野さんは、習っている漢字がひらがなになってしまいました。【報告する文章】の――――部アから、がつき、書き直すことにしました。いれいに書きましょう。

ア　対象

イ　親（しまれ）

ウ　関心

◆解説◆　対（3年生）象（4年生）「たいしょう」と読む漢字は複数あります。「対象」は「目的とする相手のこと」、「対照」は「二つのものを見比べること」、「対称」は「おたがいが対応してつり合うこと」を表します。文の意味を考えて、ふさわしい漢字を書きましょう。

◆解説◆　関（4年生）心（2年生）「かんしん」と読む漢字は複数あります。「関心」は「心に引きつけられること」、「感心」は「りっぱだ、えらいなど心に深く感じること」を表します。文の意味を考えて、ふさわしい漢字を書きましょう。

二　山野さんは、「3　おわりに」の□に□の（1）と（2）から考えたことをまとめて書いています。□に入る言葉を合わせて書きましょう。

〈条件〉

○「2　調査の内容と結果」の（1）と（2）の両方から言葉や文を取り上げて書くこと。

○【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

（例）

ら	い	が	効	の	な
で	し	み	果	健	ぜ
す	さ	が	が	康	な
。	を	、	あ	を	ら
	引	食	り	た	、
	き	べ	、	も	◆緑
	立	も	緑	つ	茶
	て	の	茶	た	は
	る	の	の	め	、
	か	お	に	に	体

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

◆解説◆
まず、何について書くのかを問題文で確かめます。「2　調査の内容と結果」の（1）と（2）から考えたことをまとめて書くということが分かります。
次に、文の終わりの表現に注目して、調査の内容から、山野さんが考えたことが文章のどこに書かれているのかを見つけます。（1）（2）ともに２段落目が「このことから」ではじまっています。「このことから」や「このように」は、例をあげて説明したことのまとめを示す場合に用います。（1）と（2）の第２段落の内容を両方取り上げながら、決められた字数以内でまとめましょう。

＊学校の先生は，上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」，「学-Viva!!セット（小学校）」内の「国語　第１５弾　調べたことを報告する文章を書こう sko_viva15001」から，ダウンロードできます。

④　課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイディア例より）

国語

TYPE L

1 三

「学校生活で気になることを調べて，報告する文章を書こう」

～目的や意図に応じて，自分の考えの理由を明確にし，まとめて書く～

目的や意図に応じて，自分の考えの理由を明確にし，まとめて書くことに課題が見られました。そこで，本授業アイディア例では，調べて分かったことを整理したり，自分の考えの理由や事例としてふさわしい事柄を選んだりしながら，自分の考えを明確にして書くことについての指導事例を紹介します。なお，本授業アイディア例は，第５学年以上を対象としています。

授業アイディア例

学習過程：学校生活で気になることを調べて、報告する文章を書く

	〈主な学習活動〉	〈指導上の留意点〉
第一次	①　学校生活をよりよくするために，気になることを調べて，学級の友達に報告する文章を書くという課題を設定し，学習の見通しをもつ。 ②　報告する文章のモデルを読み，構成や書き方の特徴を確かめる。	■　委員会活動での取組などから，学校生活で気になることについて話し合う場を設け，調べて学級の友達に報告するという学習の計画を立てるようにする。 ■　本問をモデルとして示し，報告する文章の大まかな特徴を捉えることができるようにする。（構成や書き方の工夫については，必要に応じて参考にすることができるようにする。）
第二次	③④　報告する題材を選び，調査の内容や方法を決め，調べる。 ⑤　調べて分かったことを整理し，自分の考えをもつ。 ⑥　必要な事柄を取捨選択しながら，自分の考えを明確にする。 ⑦　報告する文章の全体の構成表を作る。 ⑧⑨　報告する文章を書く。	■　調査の結果を予想しながら，調べる観点（数，種類，時，場，原因など）を決めるようにする。その際，教師が観点を例示したり，学級全体で案を出し合ったりして，参考にすることができるようにする。 ■　報告する内容に照らして，必要な情報を得ることができたかどうかを確かめるように促し，必要があれば追加調査を行うようにする。 ■　調査の結果から「分かったこと」を付箋などを用いて整理しながら，自分の考えを明確にすることができるようにする。 ■　本問をモデルとし，報告する文章の特徴を踏まえて，構成表を作ることができるようにする。 ■　②時で学習した書き方の特徴を参考にして，事実と考えとを区別しながら書いたり，図表やグラフを用いて書いたりすることができるようにする。
第三次	⑩　互いに読み合い，単元の学習を振り返る。	■　完成した報告する文章を読み合い，本単元で身に付いた力や，今後の学習などに生かしたいことについて振り返ることができるようにする。

第二次⑤／10　調べて分かったことを整理し，自分の考えをもつ

Aさんの気になること
［学校内で起こるけがが増えていること］

【調べたこと】
・けがの起こった時間
・けがの起こった場所
・学年別のけがの件数
・けがの起こった原因

【調べて分かったことのまとめ】

けがの起こった時間
・休み時間など
→多くの人が自由に行動するとき

けがの起こった場所
・校庭、体育館、教室など
→多くの人が遊んだり学習したりする場所

学年別のけがの件数
四月から十月
・六年…（四十二件）
・五年…（三十七件）
・四年…（三十五件）
→学年ごとの差はあまりない

けがの起こった原因
・人とぶつかった、飛んできたボールが当たったなど
→他の人も関わること

本授業アイディア例　活用のポイント！

- 調査したことについて報告する文章を書く活動では，児童の「調べて報告したい」という思いを大切にすることが重要です。そのためには，身近な生活に題材を求めたり，調べる価値や報告する必要性が実感できる題材を選んだりすることが考えられます。
- 調査の段階ではグループで協力して調べ，記述の段階では個人で考えを深めながら書くようにするなど，学級の実態に応じて工夫することも効果的です。

課題の見られた問題の概要と結果

1 調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）

1 三　正答率 **28.9** %　公衆電話について調べたことを【報告する文章】の［　　］に，「2　調査の内容と結果」の（1）と（2）で分かったことをまとめて書く

学習指導要領における領域・内容

〔第５学年及び第６学年〕
B　書くこと　ウ

第二次⑥／10　必要な事柄を取捨選択しながら，自分の考えを明確にする

【整理の状況】

「1　調査のきっかけ」

調べたきっかけ・調べたこと

・保健室の先生に聞いてみたところ，最近，けがの件数が増えているとのことだった。そこで「学校内で起こるけが」について調べた。

「2　調査の内容と結果」

分かったこと

けがの起こった時間
・休み時間など
→多くの人が自由に行動するとき

けがの起こった場所
・校庭，体育館，教室など
→多くの人が遊んだり学習したりする場所

けがの起こった原因
・人とぶつかった，飛んできたボールが当たったなど
→他の人も関わること

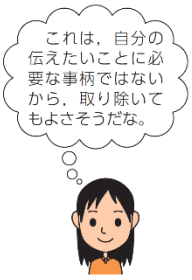
「3　調査の結果をもとに考えたこと」

考えたこと

けがを減らすためには，自分が注意することはもちろん，その場にいる人みんながおたがいに気をつけることが大切だ。

取り除いた事柄

学年別のけがの件数
四月から十月
・六年（四十二件）
・五年（三十七件）
・四年（三十五件）
…
→学年ごとの差はあまりない



ポイント
自分の考えをまとめる際には，事柄の内容を関係付けて考えることができるようにすることが大切です。また，選んだ事柄が自分の考えの理由や事例として，ふさわしいかどうかを吟味することも大切です。

第二次⑧・⑨／10　報告する文章を書く

1　学校内で起こるけがを減らすために

調査のきっかけ

最近，学校生活の中で，とても気になっていることがあります。それは，学校の中でけがをした友達をよく見かけるようになったことです。わたしは心配になって保健室の先生に聞いてみたところ，確かにけがの件数は増えているとのことでした。

そこで，けがを減らし安全な学校生活を送るために，わたしは「学校内で起こるけが」について調べることにしました。

2　調査の内容と結果

(1)　けがはどこで起こりやすいのか

けがは学校のどこで起こりやすいのかを，保健室の先生から見せていただいた資料で調べてみました。下の円グラフ〈資料1〉は，四月から十月までに起こったけがの発生場所とその件数の割合を表したものです。一位は校庭，二位は体育館，三位は教室で，この三つで全体の約八割をしめていました。

このことから，けがは，校庭，体育館，教室など，多くの人がいっしょに遊んだり学習したりする場所で起こりやすいということが分かりました。

(2)　けがはいつ起こりやすいのか

次に，けがはいつ起こりやすいのかということについて，保健室の先生から見せていただいた資料で調べてみました。下のぼうグラフ〈資料2〉は，今年の四月から十月までのけがが，いつ何件起こったのかを表したものです。休み時間のけがが最も多く，全体の約半数以上でした。

このことから，けがは，先生といっしょに活動する授業中よりも，多くの人が自由に行動するときに起こりやすいということが分かりました。

(3)　けがはなぜ起こったのか

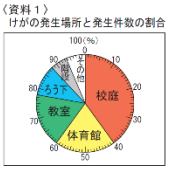
わたしは，校庭や体育館でのけが，休み時間のけががなぜ多いのか，その原因を調べてみようと思いました。そこで，校庭や体育館で休み時間にけがをしたことのある友達に，けがをした原因を聞いてみました。その結果をまとめたものが，下の表〈資料3〉です。「人とぶつかったから」や「飛んできたボールが当たったから」などの回答がありました。

このことから，けがは，自分だけではなく，他の人の行動も関わって起こることが多いということが分かりました。

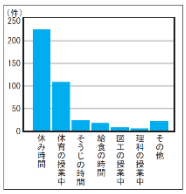
3　調査の結果をもとに考えたこと

調査の結果から，けがは多くの人がいる場所や時間，自分以外の他の人の行動も関わって起こりやすいので，けがを減らすためには，自分が注意することはもちろん，その場にいる人みんながおたがいに気をつけることが大切だと考えました。

〈資料1〉
けがの発生場所と発生件数の割合

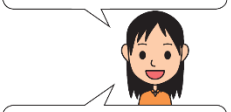


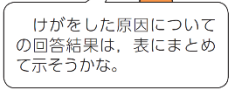
〈資料2〉
けがの発生時間とけがの発生件数



〈資料3〉
けがをした原因のまとめ（複数回答）

けがの発生の原因	人数(人)
人とぶつかったから	18
飛んできたボールが当たったから	12
遊ぶ道具を正しい方法で使っていなかったから	7
鉄ぼうやジャングルジムなどの遊具から手をすべらせて落ちたから	4
その他	8





ポイント
記述の際は，調べて分かったことと自分の考えとを区別し，文末表現などに気を付けて書き分けることが大切です。また，読み手に伝わりやすい記述の仕方を考え，必要に応じて図表やグラフを用いるなど工夫して書くことも大切です。

参照▶「平成31年度（令和元年度）　報告書　小学校　国語」P.20 ～ P.37，「平成31年度　解説資料　小学校　国語」P.12 ～ P.23

国立教育政策研究所ホームページ
平成 31 年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた」授業アイディア例

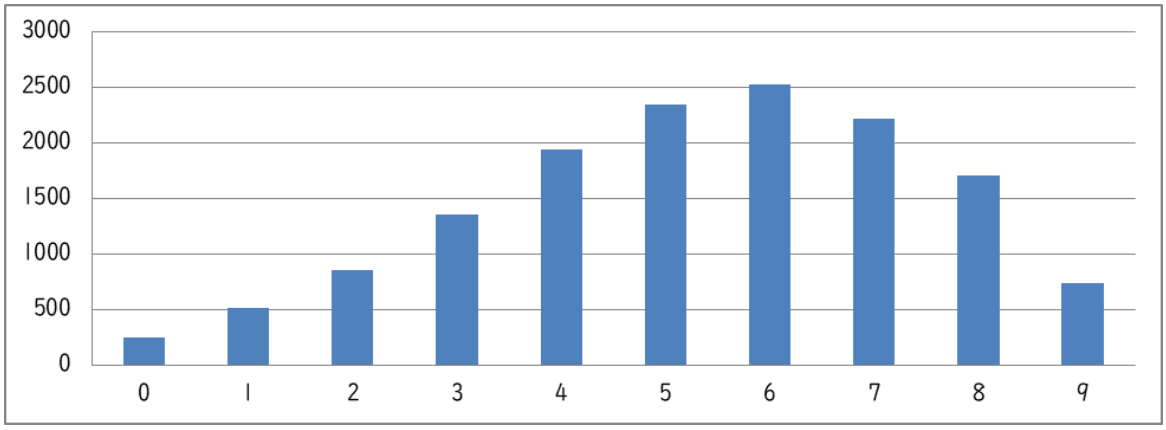
令和３年度第１回みえスタディ・チェックの結果（小学校算数）

１　第４学年

（１）平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 （平均正答数）	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		数と計算	図形	測定	データの 活用
59.0% （5.3 問/9 問）	3.48%	60.5%	54.0%	41.3%	79.3%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童数）



（３）各問題の正答率

※網掛けは，正答率が過去より５ポイント以上低い問題です。

問題番号		問題概要	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況
1	（1）	34×27 を計算する	短答	73.3%	72.7%	+0.6
	（2）	18 は６の何倍かを求める式と答えを書く	短答	81.5%	76.9%	+4.6
	（3）	12÷３の式で求められる問題をすべて選択する	選択	41.7%	37.2%	+4.5
2	（1）①	１ｍを２等分した１つ分の長さを分数で表す	短答	70.8%	－	－
	（1）②	２ｍを６等分した２つ分の長さを分数で表す	短答	35.3%	－	－
	（2）	午前 10 時 45 分から午後１時 30 分までの時間を求める	短答	41.3%	47.3%	-6.0
	（3）	好きなスポーツを表した棒グラフから，人数が一番多いスポーツと，３番目に多いスポーツの人数の違いを求める	短答	79.3%	69.0%	+10.3
3	（1）	円のまわりの長さを 12 等分した点や円の中心を直線で結んでかいた三角形から，二等辺三角形を選択する	選択	80.5%	76.4%	+4.1
	（2）	折り紙を使って正三角形を作成する方法に基づいて正三角形ができる理由を，正三角形の特徴を使って説明する	記述	27.5%	25.3%	+2.2

【成果】

・棒グラフから必要な数値や差を読み取る問題で改善が図られています。

・整数の除法の意味について問う問題で改善が図られています。

【課題】

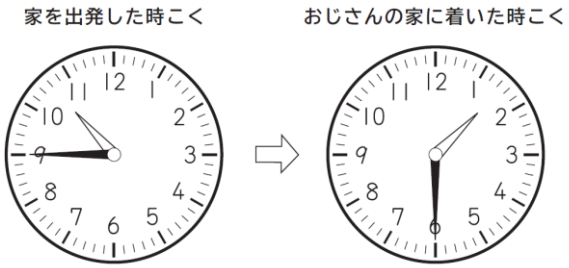
・日常生活の中で必要となる時間を求める問題で課題が見られます。

（４）課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

① 課題が見られる問題

２（２）の設問　（正答率：41.3 %）

（２） なおきさんは，午前10時45分に家を出発して，同じ日の午後１時30分におじさんの家に着きました。家を出発してからおじさんの家に着くまでに何時間何分かかりましたか。答えを書きましょう。



② 課題の改善に向けた指導のポイント

開始時刻と終了時刻，所要時間の関係を捉えることができるように指導する

■学習指導要領における領域・内容
３年生　Ｃ　測定（２）時刻と時間
　時刻と時間に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
（イ）　日常生活に必要な時刻や時間を求めること。
イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
（ア）　時間の単位に着目し，時刻や時間の求め方について考察し，日常生活に生かすこと。

　時刻や時間を求めることについては，実際に時計の模型の針を動かし，針が進んだ目盛りの数を数えたり，数直線上に表された時刻や時間を読んだりすることを指導します。その際，正時（分や秒の端数の付かない時刻）や正午を区切りとして考えることにも触れることが考えられます。
　計算によって求める場合には，日常生活で必要となる場面で指導するようにし，いたずらに複雑な単位の換算は避けるようにします。
　時間の適切な単位を用いて，時刻や時間を求めることについては，日常生活における時間の経過を捉えて考えることが大切です。例えば，時計の長針が１周を超えたり正時をまたいだりする時刻や時間を求めることについては，模型の時計の針の動きを観察したり，数直線上の目盛りやその間について観察させたりすることを通して考えさせることが大切です。

③　課題に対応したワークシート

＜小学校３年生の学習内容＞　答え

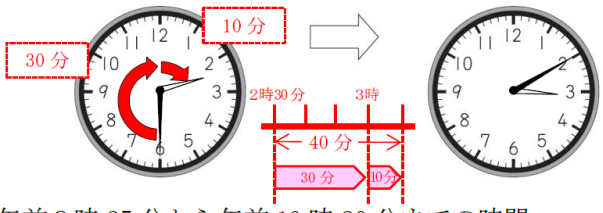
測定

時こくや時間のもとめ方を考えよう

年　　組　　番　名前

1　（1），（2）の問題を読んで，時こくや時間をもとめましょう。

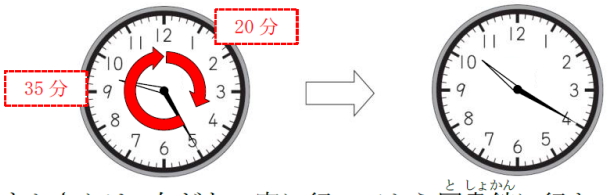
（1）午後２時 30 分から 40 分後の時こく。



◆かいせつ◆
ちょうどの時こくをもとに，
午後３時までの 30 分と
午後３時からの 10 分に
分けて考えます。

午後　3 時　10 分

（2）午前９時 25 分から午前 10 時 20 分までの時間。

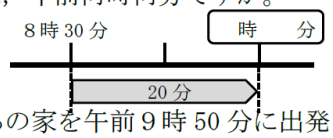


◆かいせつ◆
ちょうどの時こくをもとに，
午前 10 時までの 35 分と
午前 10 時からの 20 分をた
してもとめます。

55　分

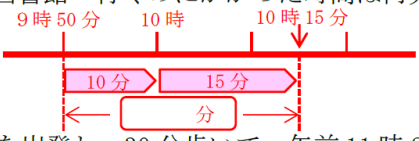
2　あすかさんは，友だちの家に行ってから図書館に行き，家に帰りました。（1），（2），（3）の問題を読んで，時こくや時間をもとめましょう。

（1）午前８時 30 分に家を出発して 20 分後に友だちの家に着きました。友だちの家に着いた時こくは，午前何時何分ですか。



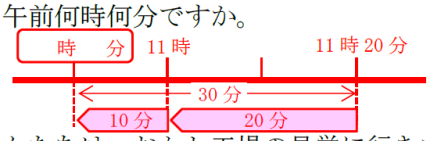
午前　8 時　50 分

（2）友だちの家を午前９時 50 分に出発して，午前 10 時 15 分に図書館に着きました。友だちの家から図書館へ行くのにかかった時間は何分ですか。



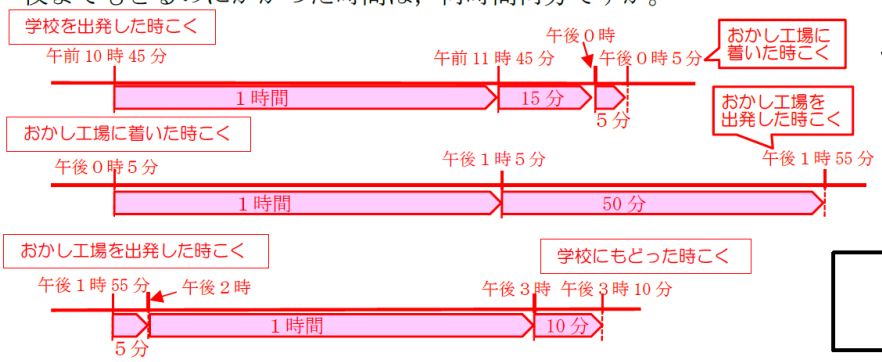
25　分

（3）図書館を出発し，30 分歩いて，午前 11 時 20 分に家に帰りました。図書館を出発した時こくは，午前何時何分ですか。



午前　10 時　50 分

3　ひろとさんたちは，おかし工場の見学に行きました。午前 10 時 45 分に学校を出発して，１時間 20 分後におかし工場に着きました。おかし工場で１時間 50 分，見学と昼食と体けん学習をしたあと出発し，学校にもどってきたのは午後３時 10 分でした。おかし工場から学校までもどるのにかかった時間は，何時間何分ですか。



◆かいせつ◆
はじめにおかし工場に着いた時こくをもとめることで，おかし工場を出発してから学校にもどるまでにかかった時間をもとめることができます。

1 時間　15 分

＊学校の先生は，上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」，「学-Viva!!セット（小学校）」内の「算数　第 20 弾　時こくや時間のもとめ方を考えよう ssa_viva20002」から，ダウンロードできます。

④　課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイディア例より）

算数

指導のねらい

与えられた条件を整理して，筋道を立てて考えられるようにする。

課題の見られた問題の概要と結果

B 3 (1)　目的の時刻までに着くバスの発車予定時刻を時刻表から選び，その時刻を書く。　　正答率40.0%

学習指導要領における領域・内容

〔第３学年〕　B　量と測定

(3)　時間について理解できるようにする。

イ　簡単な場合について，必要な時刻や時間を求めること。

授業アイディア例

※　算数の問題 B 3 (1) を提示する。

このバス停には，午前9時40分に集合します。
港博物館までは，バスで20分かかります。
午前10時20分までに，港博物館に着くためには，午前何時何分に発車する予定のバスに乗ればよいですか。その時刻をすべて書きましょう。

上の問題文から条件を書き出して，わかることを整理しましょう。

① このバス停には，午前9時40分に集合する。
▶▶▶　9時40分より前のバスには乗れない。
▶▶▶　乗るバスは9時40分よりあと。

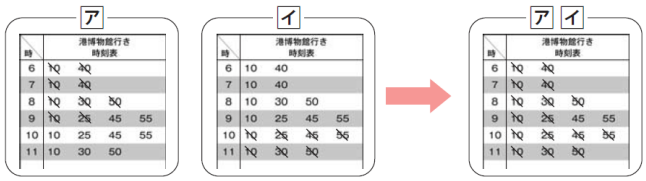
ア

② 港博物館までは，バスで20分かかる。
▶▶▶　着く時刻の20分前までのバスに乗ればよい。
③ 午前10時20分までに，港博物館に着くようにしたい。
▶▶▶　10時よりあとのバスでは，遅れてしまう。
▶▶▶　バスに20分間乗るから，着く時刻の20分前の10時より前のバスに乗らないといけない。

イ

時刻表を使って，条件に当てはまる時刻を見つけましょう。

（下の図は，乗れないバスの時刻に印「＼」を付けた例）



9時45分発と9時55分発のバスは，条件に当てはまるか確認しましょう。

9時45分発のバスに乗ると，20分後の10時5分に博物館に着くので，条件アとイに当てはまります。
同じように考えると，9時55分発のバスも条件に当てはまります。

《主な学習内容》

● 問題をよく読み，条件をすべて書き出して，分かることを整理する。

（▶▶▶は，分かること）

● 条件に当てはまらない時刻を除外したり，条件に当てはまる時刻を取り出したりして考える。

● 条件に照らし合わせて，答えを確認する。

留意点

● 指導学年や児童の学習状況に応じて条件や素材，場面を変えた問題を扱い，筋道を立てて考える場面を設ける。

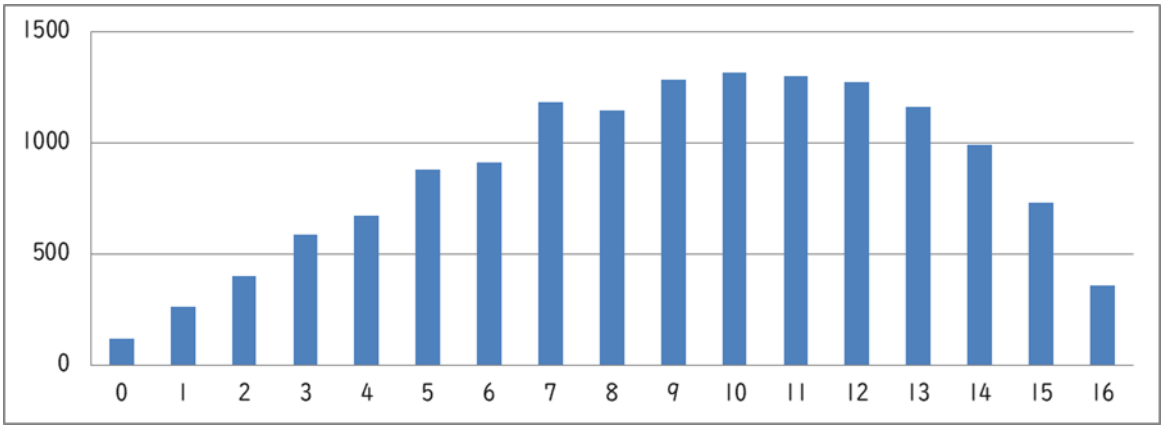
国立教育政策研究所ホームページ
平成 21 年度「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた」授業アイディア例

２　第５学年

（１）平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 （平均正答数）	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		数と計算	図形	測定	データの 活用
57.0% （9.1 問/16 問）	3.95%	65.4%	50.1%	40.4%	53.4%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童数）



（３）各問題の正答率

※網掛けは，正答率が過去より５ポイント以上低い問題です。

問題番号		問題概要	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況
1	（1）	4.6−0.21 を計算する	短答	75.7%	70.6%	+5.1
	（2）	棒グラフを読み取り，2010 年の水の使用量が 1980 年の水の使用量の何倍かを求める	短答	66.4%	60.3%	+6.1
	（3）	1.5÷３の式で求められる問題をすべて選択する	選択	52.2%	47.1%	+5.1
2	（1）①	１ｍを３等分した２こ分の長さを分数で表す	短答	80.0%	－	－
	（1）②	２ｍを８等分した３こ分の長さを分数で表す	短答	51.0%	－	－
	（2）	180°を基に 180°以上の角の大きさを求める	短答	68.8%	－	－
	（3）	午前 10 時 35 分から午後１時 15 分までの時間を求める	短答	40.4%	－	－
	（4）	58674 を，四捨五入して，千の位までの概数で表したものを選択する	選択	67.3%	70.7%	−3.4
3	（1）	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶ計算を選択する	選択	87.5%	92.3%	−4.8
	（2）	２人の説明を基に，37×24 の積が 888 になることを，式や言葉を使って説明する	記述	42.9%	55.8%	−12.9
4	（1）	長方形の紙を１本の対角線で切ったときにできる図形の名前を選択する	選択	64.6%	74.4%	−9.8
	（2）	示された図形の面積を求めるために，長方形ＡＢＨＦを長方形ＥＨＣＤの上に動かしてできた長方形ＡＨＣＦの縦の長さを表す式を書く	短答	36.8%	53.7%	−16.9
	（3）	示された形の面積の求め方にある「24−６」について，「24」と「６」がどのような図形の面積を表しているのか，言葉と数，記号を使って説明する	記述	30.4%	48.9%	−18.5

5	（1）	1組から4組までの学級ごとの折れ線グラフから，6月10日から7月20日までの期間で，高さののびが一番大きかったのは，何組のヒマワリか書く	短答	37.1%	―	―
	（2）	1組から4組までの学級ごとの折れ線グラフから，6月10日から7月20日までの期間のそれぞれの学級のヒマワリの高さについて，わかったこととして正しいものを選択する	選択	67.5%	―	―
	（3）	示された棒グラフが3組ではない理由を，棒グラフと折れ線グラフの指示された部分から，言葉と数を使って説明する	記述	42.7%	―	―

【成果】

・棒グラフから，2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍かを読み取る問題で改善が図られています。

・小数の除法の意味について問う問題で改善が図られています。

【課題】

・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を説明する問題で課題が見られます。

・示された図形の面積の求め方を解釈し，その求め方の説明を記述する問題で課題が見られます。

（4）課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

①　課題が見られる問題

4（2）の設問　（正答率：36.8 %）

（2）　けいたさんたちは，**図1**の形の面積を求めようとしています。

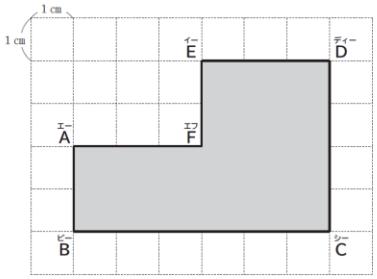


図1

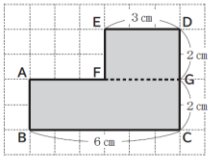
けいたさんとゆうたさんは，**図1**の形の面積が何cm²になるかを考えています。

けいた

長方形ＥＦＧＤと長方形ＡＢＣＧの2つの長方形に分けて考えたよ。

$2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$

答え　18cm²

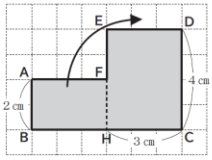


ゆうた

長方形ＡＢＨＦを長方形ＥＨＣＤの上に動かして，1つの長方形ＡＨＣＦにして考えたよ。

（　　）$\times 3 = 18$

答え　18cm²



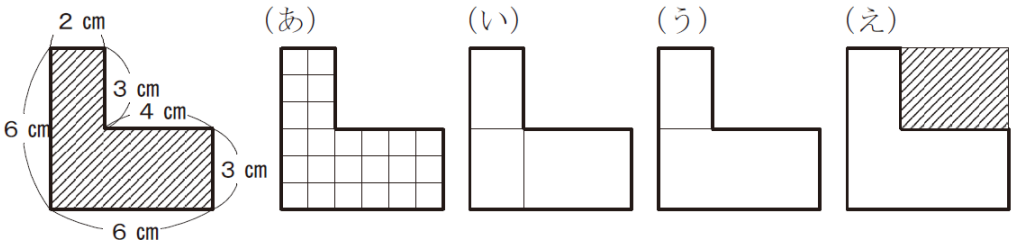
ゆうたさんの考えの　　にあてはまる**式**を書きましょう。

②　課題の改善に向けた指導のポイント

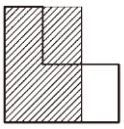
図形を構成する要素に着目し，図形の面積の求め方を考えることができるように指導する

■学習指導要領における領域・内容
４年生　Ｂ　図形（４）平面図形の面積
　平面図形の面積に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア　次のような知識及び技能を身に付けること。
（イ）　正方形及び長方形の面積の計算による求め方について理解すること。
イ　次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。
（ア）　面積の単位や図形を構成する要素に着目し，図形の面積の求め方を考えるとともに，面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。

　指導に当たっては，長方形や正方形，及びそれらを組み合わせた図形の面積を求める際，単位となる正方形を敷き詰めるのではなく計算によって面積を求める方法について考えることができるようにすることが大切です。
　正方形や長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を，既習の正方形や長方形の求積公式を活用することで求めることができるようにします。



　例えば，この形の面積を求める際には，（あ）のように具体的に方眼を引いて考え，「１cm²が幾つあるか数えたら24cm²になる」と説明できます。これは面積の意味に基づく説明です。また，（い）のように三つの長方形に分けたり，（う）のように二つの長方形に分けたりして，それぞれの長方形の面積を計算により求めてから合わせると考えることもできます。さらに，（え）のように，大きな長方形の面積から斜線部分の長方形の面積を引くと考えることもできます。
　また，６×４＝24 と乗法１回で求めている式を考える児童もいるかもしれません。この場合も，６×４の４とはどこのことだろうと探り，求め方を理解させます。



　このように，多くの求め方があることを学級全体で確認していくとともに，面積を求めることができたアイディアについて確認しておくことが重要です。

③　課題に対応したワークシート

＜小学校４年生の学習内容＞　答え

図形

面積の求め方を考えよう

年　　組　　番　名前

1　ゆうとさんたちは，下のような色のついた部分の形（ ）の面積の求め方を考えています。次の問題に答えましょう。

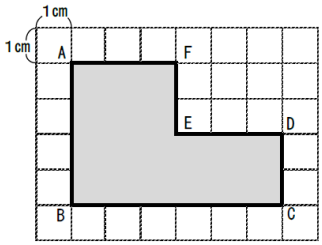


図1

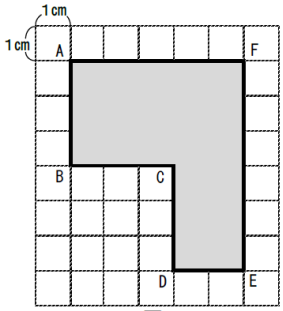


図2

（1）　ゆうとさんとあおいさんは，**図１**の形の面積の求め方を次のように考えました。□に当てはまる式を書きましょう。

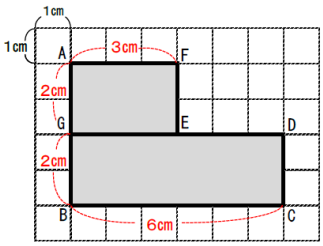


図1

【ゆうとさんの説明】

点 E と点 G を直線で結び，２つの長方形に分けます。

長方形 AGEF の面積と長方形 GBCD の面

２×３＋ ２×６ ＝18

図１の形の面積は，18 cm² になり

◆かいせつ◆
たて２cm，横３cmの長方形と，たて２cm，横６cmの長方形の面積をあわせて求めています。

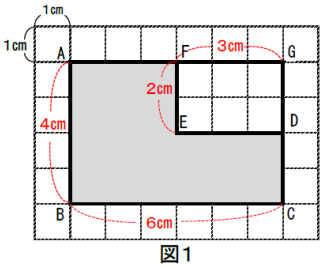


図1

辺AF と辺 CD か

長方形 ABCG と

の面積ひくと，

４×６－２×３ ＝18

で，**図１**の形の面積は，18 cm² になります。

◆かいせつ◆
たて４cm，横６cmの長方形の面積から，たて２cm，横３cmの長方形の面積をひいて求めています。

（2）　**図２**の形の面積の求め方を，**【ゆうとさんの説明】**または**【あおいさんの説明】**のどちらかの説明をもとにして，言葉と数，記号を使って書きましょう。

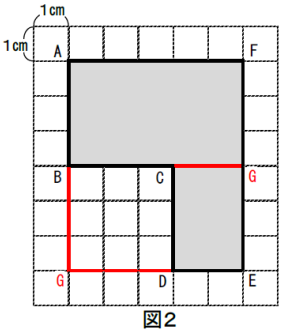


図2

〈かいとう例〉

○**【ゆうとさんの説明】**をもとにする場合
点 C と点 G を直線で結び，２つの長方形に分けます。
長方形 ABGF の面積と長方形 CDEG の面積をあわせると，
３×５＋３×２＝21 で，**図２**の形の面積は，21 cm² になります。

○**【あおいさんの説明】**をもとにする場合
辺 AB と辺 DE から直線をのばしてできた長方形を，
長方形 AGEF とします。長方形 AGEF の面積から正方形 BGDC の面積をひくと，６×５－３×３＝21 で，**図２**の形の面積は，21 cm² になります。

＊学校の先生は，上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」，「学-Viva!!セット（小学校）」内の「算数　第 20 弾　面積の求め方を考えよう ssa_viva20004」から，ダウンロードできます。

④　課題の改善に向けた授業例の紹介（授業アイディア例より）

算数
TYPE S
1(3)

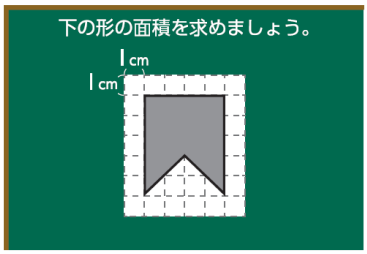
「図形と式とを関連付け，説明しよう」

～図形の構成についての見方を働かせ，面積を求める～

1(3)の結果を分析すると，図形と式とを関連付け，筋道を立てて考察し表現することに課題が見られました。算数の学習では，図形の合成や分解など図形の構成についての見方を働かせ，図形の面積を，既習の求積公式を活用して求め，求め方について，数の意味や演算の意味などを，図形と関連付けて説明することができるようにすることが大切です。本授業アイディア例では，複数の図形を組み合わせた図形から，面積の公式を知っている図形を見いだし，図形と式とを関連付け，面積の求め方について説明することができるようにすることをねらいとした授業を紹介します。

授業アイディア例

①　面積の公式を知っている図形を見いだす。



どのように考えれば面積を求めることができるのかな。

今までの面積の学習と同じように，
公式で面積を求められる図形を見つければよいと思います。

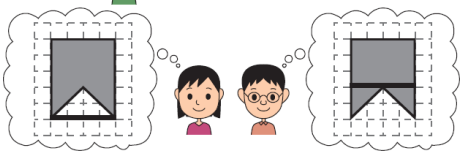
例えば，台形の面積は，三角形や平行四辺形を
見つけることで求めることができました。

どのような図形を見つけることができますか。（教師）

2つの台形を見つけました。

長方形と三角形を見つけました。

この2つの
台形ですね。

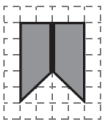


直線を引くことで，どのような図形を見つけたのかが分かりやすくなりましたね。
見つけた図形をもとに，この形(⮝)の面積を求めてみましょう。

ポイント　**図形の構成についての見方を働かせ，面積の公式を知っている図形を見いだすことができるようにすることが大切です。**

②　図形の面積を求め，求め方を説明する。

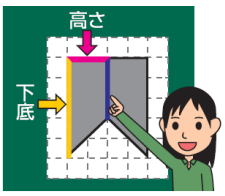
このように直線を引いて，
合同な台形が
2つ分と考えました。



どうして台形だといえるのですか。

向かい合った1組の辺が
平行な四角形だからです。

台形の面積の公式は（(上底)+(下底))×(高さ)÷2 だから，
台形1つ分の面積は（3+5)×2÷2=8 で，8cm^{2}です。



どこを，上底，下底，高さと見たのでしょうか。

上底はここです。

合同な台形が2つ分なので，
8×2＝16 で，面積は16cm^{2}です。

ポイント　**見いだした図形の性質や構成要素に着目し，面積の求め方を式に表して，図形と式とを関連付けて説明することができるようにすることが大切です。**

課題の見られた問題の概要と結果

1 図形の構成と筋道を立てた考察（台形）

1（3）正答率 **44.1** %　減法の式が，示された形の面積をどのように求めているのかを，数や演算の表す内容に着目して書く

学習指導要領における領域・内容

〔第5学年〕 B 量と測定（1）ア

③ 示された図形の面積の求め方を解釈し説明する。

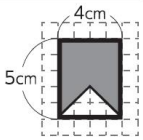
5×4=20
4×2÷2=4
20−4=16　答え 16 cm²

この式で面積を求めた人がいました。どのような考え方で求めたのかを考えましょう。

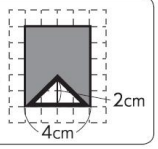
5×4 は，長方形の面積を求めているのだと思います。

4×2÷2 は，三角形の面積を求めているのだと思います。

その長方形は，この図のようにたてが5cm，横が4cmの長方形だと思います。



その三角形は，この図のように底辺が4cm，高さが2cmの三角形だと思います。



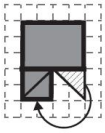
20−4 は，長方形の面積から三角形の面積を引いて，この形(⋀)の面積を求めているのだと思います。

この形(⋀)を，長方形から三角形を取り去ってできる形とみているのですね。

5×4=20
4×2÷2=4
20−4=16
この3つの式を1つの式で表すこともできます。

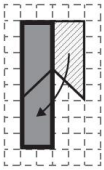
ポイント　式は計算の結果を求めるための手段だけでなく，思考の筋道を表現する手段としても用いられます。数や演算に着目して，既習の面積の求積公式を基に，図形をどのように捉えたのかを説明することができるようにすることが大切です。

④ ほかの図形を見いだした場合の面積の求め方についても考える。



3×4+2×2=16

答え 16cm²



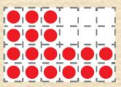
(5+3)×2=16

答え 16cm²

本授業アイディア例　活用のポイント！

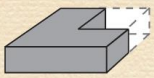
● 本授業アイディア例に限らず，図形の構成についての見方を働かせ，図形を捉えることができるようにするために，図を基に式に表したり，図と関連付けて式を解釈したりする活動を様々な学年で行うことが大切です。

第2学年「かけ算」



第4学年「面積」

第5学年「体積」



参照▶「平成31年度（令和元年度） 報告書 小学校 算数」P.20 ～ P.28，「平成31年度 解説資料 小学校 算数」P.12 ～ P.19

国立教育政策研究所ホームページ
平成 31 年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた」授業アイディア例

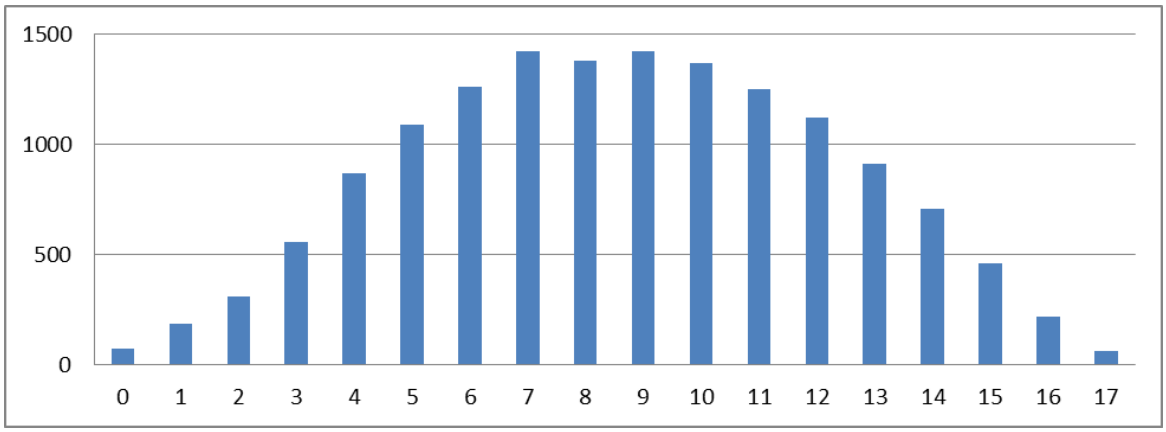
令和３年度第１回みえスタディ・チェックの結果（小学校理科）

１　第５学年

（１）平均正答率，平均無解答率及び領域別平均正答率

平均正答率 （平均正答数）	平均 無解答率	領域別平均正答率			
		物質	エネルギー	生命	地球
50.9% (8.7 問/17 問)	4.05%	42.9%	51.0%	68.8%	44.8%

（２）正答数別分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童数）



（３）各問題の正答率

※網掛けは，正答率が過去より５ポイント以上低い問題です。

問題番号		問題概要	問題形式	正答率	過去同一問題正答率	改善状況
1	（1）	乾電池１個のときと比べて，プロペラが速く回る乾電池とモーターのつなぎ方を選択する	選択	65.9%	66.0%	-0.1
	（2）	乾電池とモーターのつなぎ方のうちプロペラが回らないものを選択し，選択したつなぎ方のプロペラを回るようにするにはどうすればよいか選択する	選択	47.8%	55.1%	-7.3
	（3）	検流計の針が乾電池１個をつないだときと同じようになるつなぎ方を選択する	選択	39.4%	33.6%	+5.8
2	（1）	親鳥の子育てのじゃまをせずに，安全に気をつけてひなのようすを観察できる方法を選択する	選択	73.9%	80.4%	-6.5
	（2）	【たかしさんのまとめ】が，鳥の翼と人の腕のつくりについて，どのようなことを比べてまとめたものかを選択する	選択	66.3%	74.4%	-8.1
	（3）	「関節」の名称を書く	短答	80.9%	78.0%	+2.9
	（4）	腕の模型を使うと，腕が曲がる仕組みのどのようなことが説明できるか選択する	選択	54.1%	53.2%	+0.9
3	（1）	方位磁針の適切な操作方法を選択し，選択した方位磁針における正しい太陽の方位を書く	短答	35.7%	25.1%	+10.6
	（2）	「方位じしん」の名称を書く	短答	78.7%	88.4%	-9.7
	（3）	影の観察記録を基に，木の影の長さの変化を表すグラフを選択する	選択	57.4%	53.5%	+3.9
	（4）	影の観察記録の影の様子から，観察した日の１日の気温の変化を表したグラフを選択し，そのグラフを選択した理由を書く	記述	7.4%	15.6%	-8.2

4	（1）	「フラスコ」の名称を書く	短答	69.9%	62.3%	+7.6
	（2）	あすかさんの予想が正しいことを確かめるための新たな実験方法と予想される結果の組み合わせを選択する	選択	23.0%	20.3%	+2.7
	（3）	水と空気は，温めたり冷やしたりすると体積は変わるが，その変化の程度には違いがあることを書く	記述	31.1%	26.3%	+4.8
	（4）	温度の違いによる金属の体積変化について説明した文の空欄に入る，適切な言葉を書く	短答	33.1%	29.3%	+3.8
5	（1）	水の温まり方の予想を基に，温度計が示す温度が高くなる順番を選択する	選択	46.4%	51.7%	-5.3
	（2）	水の温まり方について，実験結果から考え直した内容を選ぶ	選択	54.2%	49.5%	+4.7

【成果】

・乾電池のつなぎ方と電流の大きさや向きとの関係を，検流計の針のふれ方に適用し，考察する問題で改善が図られています。
・方位磁針の適切な操作方法を問う問題で改善が図られています。
・フラスコの名称を問う問題で改善が図られています。

【課題】

・モーターを回すために，誤った乾電池のつなぎ方を改善する方法を問う問題で課題が見られます。
・方位磁針の名称を問う問題で課題が見られます。
・天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析し，その理由を説明する問題で課題が見られます。

（4）課題が見られる問題とその課題の改善に向けた指導のポイント

①　課題が見られる問題

1（2）の設問　（正答率：47.8%）

1　まなさんたちは，新しいかん電池，モーター，プロペラ，スイッチ，どう線を使って，図1のようなせんぷう機をつくりました。図2は，そのせんぷう機の，かん電池とモーターのつなぎ方を示したものです。

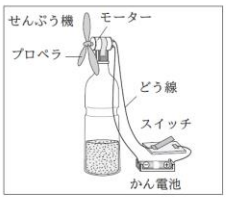


図1

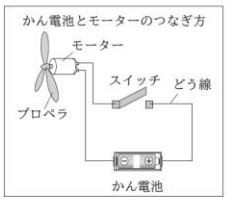


図2

下の図3のように，1こや2このかん電池をいろいろなつなぎ方でモーターとつなぎ，せんぷう機のプロペラの回る速さを調べたところ，図2のときと比べて，速く回るもの，同じくらいの速さで回るもの，回らないものがありました。

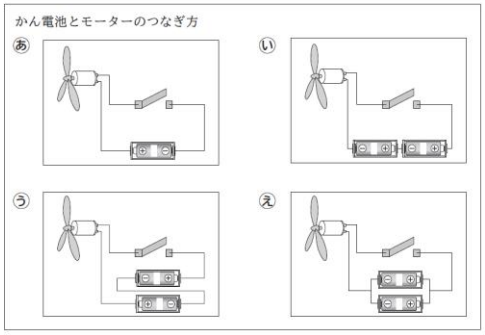


図3

(1)　図3のあからえのうち，図2のときと比べて，プロペラが速く回るものはどれですか。1つ選んで，その記号を書きましょう。

(2)　図3のあからえのうち，プロペラが回らなかったものはどれですか。1つ選んで，その記号を書きましょう。
　また，それを回るようにするにはどうすればよいですか。下のアからエまでの中から1つ選んで，その記号を書きましょう。

ア　モーターとかん電池の間のどう線を短くする。
イ　モーターとかん電池の間のどう線を長くする。
ウ　2つのかん電池のうち一方だけを逆向きにする。
エ　2つのかん電池を両方とも逆向きにする。

② 課題の改善に向けた指導のポイント

乾電池の数を増やした際の電気の働きの変化や，直列つなぎ，並列つなぎの際の導線や乾電池のつなぎ方について正確に捉えるよう指導することが大切です。

■学習指導要領における領域・内容
４年生　A　物質・エネルギー（３）ア（ア）
ア　次のことを理解するとともに，観察，実験などに関する技能を身に付けること。
（ア）乾電池の数やつなぎ方を変えると，電流の大きさや向きが変わり，豆電球の明るさやモーターの回り方が変わること。

指導に当たっては，例えば，乾電池のつなぎ方においては，同じ直列つなぎでも乾電池の置き方には様々なものがあることを確認する活動などが考えられます。また，回路の導線を伸ばしてつなぎ方を分かりやすくしたり，乾電池の極を確認するために導線を指でたどったりして電気の流れや流れる向きについて確認するなどの学習活動が考えられます。

③　課題に対応したワークシート

＜小学校４年生＞　答え

エネルギー

電流の向きや大きさ

年　　組　　番　名前

1　かん電池２ことモーター，スイッチを図１，図２のようにつなぎ、回路を作りました。次の各問いに答えましょう。

図１

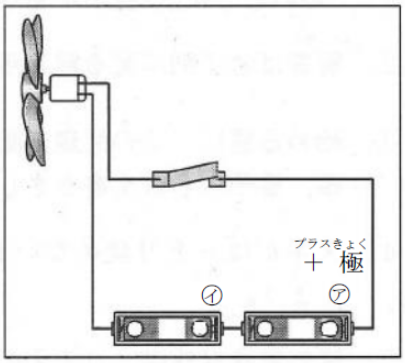
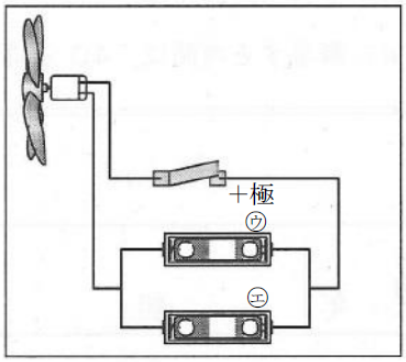


図２



（1）図１と図２のかん電池のつなぎ方は，それぞれ何つなぎといいますか。

①　直列　つなぎ	②　へい列　つなぎ

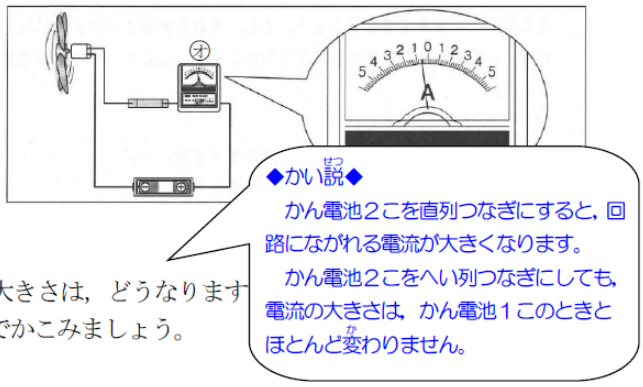
（2）図１の㋐と図２の㋒は，どちらもかん電池の＋極です。①の㋑と，②の㋓は，それぞれかん電池の＋極・－（マイナスきょく）極のどちらですか。

㋑　＋極	㋓　＋極

（3）右の図３のオを使うと電流の流れる向きや大きさを調べることができます。㋔を何といいますか。名前を書きましょう。

（かんい）けん流計

図３



（4）上の図１と図２の回路に流れる電流の大きさは，どうなります
までの中から１つ選んで，その記号を○でかこみましょう。

ア　図１の回路に流れる電流のほうが，図２の回路に流れる電流よりも大きい。

イ　図１と図２の回路に流れる電流の大きさは同じ。

ウ　図２の回路に流れる電流のほうが，図１の回路に流れる電流よりも大きい。

＊学校の先生は，上記のワークシートを「みえの学力向上県民運動」のホームページ「先生のページ」，「６月・７月期の学習に対応したワークシート（小学校）」，「４年　電流のはたらき sri_67ws003」から，ダウンロードできます。